

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義は発生しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 … 償却原価法（定額法）を採用している。

その他の有価証券

時価のあるもの … 決算時の市場価格等に基づく時価法を採用している。

時価のないもの … 原価法を採用している。

(2) 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金 … 常勤役員の退職慰労金の支給に備えるため、規定に基づく期末要支給額を計上している。

退職給付引当金 … 従業員の退職金給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 … 消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	80,962,500	0	0	80,962,500
投資有価証券	2,142,008,575	57,588	458,712	2,141,607,451
小 計	2,222,971,075	57,588	458,712	2,222,569,951
特定資産				
奨学資金積立資産	140,000,000	0	0	140,000,000
小 計	140,000,000	0	0	140,000,000
合 計	2,362,971,075	57,588	458,712	2,362,569,951

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	80,962,500	(20,662,500)	(60,300,000)	—
投資有価証券	2,141,607,451	(2,139,232,451)	(2,375,000)	—
小 計	2,222,569,951	(2,159,894,951)	(62,675,000)	—
特定資産				
奨学資金積立資産	140,000,000	(8,000,000)	(132,000,000)	—
小 計	140,000,000	(8,000,000)	(132,000,000)	—
合 計	2,362,569,951	(2,167,894,951)	(194,675,000)	—

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
国 債			
利付国庫債券 61 回	49,596,884	54,157,800	4,560,916
利付国庫債券 79 回	100,000,000	119,350,000	19,350,000
利付国庫債券 149 回	205,063,718	240,404,200	35,340,482
利付国庫債券 151 回	203,383,296	229,452,600	26,069,304
ユーロ円債			
ノムヨーロッパ ファイナンス N.V. # 43645	50,000,000	※ —	—
合 計	608,043,898	—	—

※時価の算定が困難のため価額は付していません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	8,411,604
基本財産受取配当金	32,870,500
特定資産受取利息	2,005
経常外収益への振替額	0
合 計	41,284,109